



学校教育目標

勤勉で、正直に生き、感謝の心を持った、心豊かで健康な児童を育成する。

やさしく

かしこく

たくましく

寒い毎日が続きます。太田市では多くの学校でインフルエンザが流行っております。引き続き、感染が広がらないように十分な栄養と睡眠、手洗い、うがいといった基本的な感染対策をお願いいたします。

本年度もあと2ヶ月となりました。子どもたちの学級の様子を伺うと、クラスで一年の振り返りをしたり、学年のまとめの学習をしたりする様子もみられるようになりました。ご家庭でも、子どもたちの持ち帰るプリントや作品をみていただき、一年の振り返りと成長について話し合う機会にしていいただければ幸いです。



「叱る」と「怒る」は、どう違う？

以前の学校だよりで、「褒め上手？」というテーマを話題にしました。

もちろん、子どもの指導は、褒めてばかりではありません。時に「叱る」ことも大切だと考えています。ただ大切なことは「叱ること」と「怒ること」を区別すべきではないでしょうか。実は、私たち親や大人は子どもに対して「叱るつもりで怒っている」ことがあるのではないのでしょうか。

「厳しい注意」が必要な時もある！

「叱る」と「怒る」はどちらも注意を与える時の言葉です。注意をされた子どもは、きっと苦い思いをします。そして注意した親や大人も楽しい気持ちではないはずです。どちらも良い気分になるわけではありません。それでも安全を守るため、子どもがより良く育っていく上では時として「厳しい注意」も必要なはずです。

ここで「叱る」と「怒る」の違いを考えてみると「怒る」といった時は、その根底には「腹を立てている」という感情的な精神状態になっているように思います。一方「叱る」は腹を立てるのではなく、冷静に教育的な配慮をもって「叱る」という違いがあるのではないのでしょうか。その差は、子どもの受け止め方にも違いを生むことになるのかもしれない。

「プラスになる叱り方」



小さな子どもであろうと、自分や他人を傷つけたり嫌な思いをさせたりする言動については、親として大人としてきちんと「叱る」必要があるはずです。

そこで、子どもにも親や大人にも納得がいき、どちらにも良い方向に導く「プラスになる叱り方」を考えていく必要があります。良い叱り方として「すぐその場で叱る」「なぜ叱ったのか説明して納得させる」

などポイントはいくつかあると思います。ただ、一番大切なことは、「その子の将来を良くするために」という親心をもって「叱る」ことではないでしょうか。「叱る側の温かい思い」が正しく子どもに伝わってこそ、その結果をプラスにすることができるのではないのでしょうか。

我々、職員もそんな「叱り方」を心がけていこうと思っています。



◎3月の行事予定

日	曜	朝行事	校内行事等
1	土		
2	日		
3	月		学年末事務処理日①
4	火	運動	学年末事務処理日② P T A 新旧本部役員会
5	水	読書	学年末事務処理日③
6	木	表彰	学年末事務処理日④
7	金	清潔検査	学年末事務処理日⑤
8	土		
9	日		
10	月		
11	火	運動	
12	水	読書	
13	木	学習	
14	金	学習	
15	土		
16	日		
17	月		
18	火	運動	
19	水	学級	大掃除 P T A 会計監査
20	木		春分の日
21	金	学級	卒業式準備
22	土		
23	日		
24	月		卒業式
25	火	学級	
26	水		終了式 退任式
27	木		学年末休業日
28	金		学年末休業日
29	土		
30	日		
31	木		学年末休業日

